



会員紹介集

令和元年 6 月

個人会員

	会員名	ページ
1	浅野 直人	1
2	伊豫岡 宏樹	1
3	於保 剛	1
4	川口 栄男	2
5	谷 憲司・山下 浩史（西部3Rステーション）	3
6	日高 健	4
7	本田 淑子	4

50音順，敬称略

団体会員

	団体名	ページ
1	福岡市漁業協同組合 （箱崎支所,伊崎支所,姪浜支所,能古支所,本所）	5
2	一般社団法人ふくおかFUN	6
3	特定非営利活動法人 九州キラキラみなとネットワーク	7
4	NPO 法人循環生活研究所	8
5	福岡工業大学附属城東高等学校 科学部	9
6	福岡工業大学社会環境学部	9
7	いであ株式会社 九州支店	10
8	三洋テクノマリン株式会社	10
9	環境テクノス株式会社	11
10	一般財団法人九州環境管理協会	11
11	株式会社 東京久栄 九州支店	12
12	日本ミクニヤ株式会社 九州支店	13
13	復建調査設計株式会社 九州支社	14
14	八千代エンジニアリング株式会社	15
15	博多港ふ頭株式会社	16
16	博多湾環境整備株式会社	16
17	福岡市 港湾空港局港湾計画部みなと環境政策課	17

団体種別 50音順

随時，紹介団体の追加，修正を受付けております。

浅野 直人（あさの なおひと）

福岡大学名誉教授。環境法、環境政策を研究。現在も、大学院学生への講義を担当し、また、国や地域の環境法令の検討や環境行政の執行などについて、求めがあれば提案、助言をしています。国費や公費で働かせていただいたことを通じて得られた知見は公共財なので、いつでも皆様にお返しすることは義務だ、と考えております。ただし、自然保護の領域に関しては、十分な知見をもたないので、この会を通じて、その面での知見を拡げることができれば幸いです。

連絡先:jn119asano@yahoo.co.jp

伊豫岡 宏樹（いよおか ひろき）

福岡大学で学生さんと一緒に色々な川、海、干潟等で調査・研究を行っています。
コンサルさんほどではないですが、観測機器いろいろあります。
地域の保育園や小学校で環境学習なんかもやることがあります。



HP など:<https://www.facebook.com/people/Hiroki-Iyooka/100010633924364>

連絡先:iyooka@fukuoka-u.ac.jp

於保 剛（おぼ たけし）

2019年春から博多湾NEXT会議個人会員になりました。

得意分野や強みはありませんが、博多湾のためにできることを考え、まずは個人で楽しみながらできることから取り組んでいきたいです。

《個人会員としてこんなことができたらいいな！》

- ・各団体の活動やイベントなどがSNSに投稿された際の「いいね！」ボタン支援
- ・博多湾NEXT会議が主催するイベントや活動に係る支援や協力
- ・博多湾で釣ったり、獲ったりした魚介をSNSに投稿して魅力を発信
- ・博多湾の魚介を使った料理やお店をSNSに投稿して魅力を紹介 など

川口 栄男（かわぐち しげお）

平成 28 年 3 月九大農学部定年退職(名誉教授)。博多湾 NEXT 会議会長。

【専門】:海産植物学;研究テーマとして、特に「藻場」の生態、紅藻類の分類学および生活史、東南アジア諸国(ベトナム、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイなど)の資源海藻類の調査等。

【博多湾に関する研究】

①緑藻アオサ類の大量増殖(“グリーンタイド”)

博多湾にはアナアオサ *Ulva pertusa* の他にもう一種アオサ類が生育していること、さらにこの種アオサ属の新種ミナミアオサ *Ulva onoi* が夏季以降の湾奥での“グリーンタイド”発生に大きく関与していることを解明。

②博多湾における天然岩礁域での海藻植生調査

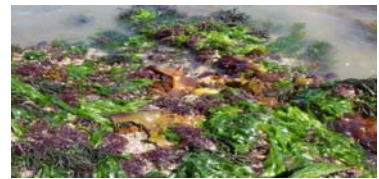
湾内の岩場数地点で海藻の生育種数の調査を実施し、湾内海洋環境変化のモニタリング中。

③アマモ場での地曳網による動物群集調査

博多湾砂泥域の主要な海産植物である海草アマモ群落に出現する、魚類、甲殻類、頭足類などの地曳網による調査を継続実施中。

④アマモ場造成の試み

アマモ場造成の試みとして、アマモ草体を使う手法を改良し、人工海浜(百道浜、地行浜)やアイランドシティ周辺でアマモの移植を実施中。



連絡先:25kwg93@gmail.com

西部3Rステーション(谷 憲司・山下 浩史)

西部3Rステーションの谷、ふくおか環境財団の山下です。
現在、我々は個人会員として参加させてもらっています。

西部3Rステーションでは環境問題について関心を持ってもらうためのきっかけづくりとして様々な活動をしています。

ごみ減量、3Rなど環境に関する講演会、講習会の開催や小学校などへの出前講座、館内展示・見学、リサイクル体験講座など実施しています。

また、リユース事業として持ち込んでいただいた衣類等を無料で引取、提供もしています。環境に関するイベントでのワークショップ開催やフリーマーケット、リユース陶器市などのイベントも開催しています

施設には研修室や会議室もあり定期的にリフォーム講座なども実施するとともに環境団体の活動、交流の場として施設を提供しています。

お近くにお越しの是非お立ち寄りください。



福岡市西区今宿青木 1043-2
(休館日：月曜日)

団体 HP：<http://www.fukuoka-seibuplaza.com/>

担当者：西部3Rステーション 谷

連絡先：TEL：092-895-1622 FAX:092-882-4580

E-mail tani@f-kankyo.or.jp

日高 健（ひだか たけし）

私は近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科に所属しています。専門は、沿岸域管理論、水産経営学、地域経営学です。2008年3月までは農学部水産学科に所属し、養殖マグロの研究チームにも入っていました。そこでは、養殖マグロの流通やマグロ養殖のビジネスモデルを研究しており、世界の主要養殖産地を回って、養殖経営の仕方を調査し、2010年に『世界のマグロ養殖』（農林統計協会）という本にまとめました。2008年4月に飯塚市にある産業理工学部に移ってからは、沿岸域をいかに管理するかについて研究しています。沿岸域を管理するための概念として『里海』という考え方があります。これは人間と自然との関わり方を表す日本発の考え方であり、世界にも広がりつつあります。里海とは、人手を加えることによって生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域のことです（柳、2006）。また、御製や地域が協働して持続的に利用していくための組織や仕組みでもあります（日高、2016）。私は、里海をマネジメントするための組織やルールについて調べているところで、2016年に『里海と沿岸域管理－里海をマネジメントする』（農林統計協会）を出版しました。そして、博多湾を都市型の里海にできないものか考えているところです。



連絡先: hidaka@fuk.kindai.ac.jp

フードディレクター・本田淑子（ほんだ よしこ）

魚食普及を推進する「サカナグミ」をプロデュース。

サカナグミの主な活動としては長浜鮮魚市場会館で月一回（毎月15日）、魚のプロ仲卸さんと消費者を繋ぐ魚教室を企画したり、料理のプロと魚をコラボする料理教室や、夏休み春休みに子ども向けの魚料理教室（毎月第4日曜日）も企画しています。他にも大手スーパーと組んで親子魚料理教室を開催したり、公民館や小学校などへも出張教室をするなど積極的に魚を使った教室を企画し、魚食を普及すると同時に魚や海への関心を深める活動をしています。

また他にも『食』をテーマに各種イベントの企画、料理番組制作など。

団体 HP: サカナグミ FB→<https://www.facebook.com/hakatasakanagumi/>

連絡先: yokkom@mac.com 携帯 080-4145-0370

福岡市漁業協同組合（箱崎支所、伊崎支所、姪浜支所、能古支所、本所）

博多湾を豊かな海に再生するため、青壮年部を中心として、海底ごみの回収やごみ削減の啓発を図るため漁場クリーンアップ作戦や海底耕うん、食害生物の駆除、アサリの種苗放流などを行っています。

- ・ 海底清掃及び海面清掃、海底耕転など
- ・ 海底ゴミの回収・浅場の保全活動
- ・ 多面的機能事業・青壮年活動・各支所で藻場保全活動

箱崎支所：2月～3月、支所にて箱崎わかめを販売しています。



箱崎わかめ

伊崎支所：「伊崎のおさかな夕市」毎週土曜日 14:55～
夕市の開催情報はコチラ→<http://tiq0e.crayonsite.info>

3月～9月、「塩わかめ」を販売中。【問合先(森穰司):080-5254-0119】
※「伊崎のおさかな夕市」でも販売しております。



「伊崎のおさかな夕市」の様子



塩わかめ

姪浜支所：「姪浜のり」(焼のり、板のり、味付けのり、生のり佃煮、海苔ふりかけ)を
支所にて販売しています。

「姪浜の朝市」毎週日曜日 5:30～



全形5枚入×6袋

能古支所：アサリ(4月～10月)、カキ(11月～3月)を支所にて販売しています。
購入する場合は、事前に支所まで連絡をお願いします。



アサリ



カキ

団体 HP: <http://fukuokashigyokyo.com/>

一般社団法人ふくおかFUN

～ふくおかの海と人をつなぐ～

福岡の水中世界でくり広げられている生物の営みを見守り、
新たな発見や感動を皆さんと共有し、
この自然を次世代まで残していくことが私たちの使命です



水中調査・撮影



授業・講演

体験型イベントの実施



写真・映像展の開催



行政との共働事業



団体 HP: www.fun-fukuoka.or.jp

代表理事 大神 弘太郎

連絡先: TEL & FAX: 092-407-6970 / メール: uminogakko@fun-fukuoka.or.jp

特定非営利活動法人 九州キラキラみなとネットワーク

NPO 法人九州キラキラみなとネットワークのミッションは「すべての人に港の楽しさを伝えること」です。周囲を海に囲まれて暮らす日本人にとって、古(いにしえ)より海との関りは広く、かつ深いものです。

すべての人が海とみなとに親しみを持ち、健康増進にも役立つことで、みなとに賑わいをもたらす活動として、みなとの施設や歴史、伝統文化に関する場所をコースに設定した、誰でも安心して楽しめる参加しやすい「みなとでスロージョギングを楽しむ会」を実施しています。

具体的には、博多湾の周辺を毎月第2土曜日夕刻から約4Km～6Kmをゆっくり走る速さで走ります。完走後は希望者のみですが、懇親会も開催しています。

「みなとでスロージョギングを楽しむ会」は平成25年2月よりスタートし、令和元年5月で第76回を迎え、総参加人数も1700人を超えました。

毎月、九州キラキラみなとネットワークのHPに最新版スロージョギング開催のチラシや過去の実績を掲載しております。又、HPより参加申込を受け付けています。

団体 HP: <http://www.kirakiraminato.com/>

代表者: 特定非営利活動法人九州キラキラみなとネットワーク 理事長 大谷鮎子

連絡先: TEL:092-722-1646 fax:092-722-1566 e-mail:info@kirakiraminato.com

NPO 法人循環生活研究所(じゅんなまけん)

じゅんなま研です。

食べ物は病気を予防し精神的・肉体的な健康につながっていることを実感し、「暮らしと土をつなげる」ことで、安全な食生活を目指しています。具体的には堆肥(コンポスト)で身の回りの栄養(生ごみ・落ち葉・雑草)を循環させ、野菜に変える活動をしています。そのひとつに生活排水が原因で富栄養化し、大量発生している海藻アオサを堆肥化し農業利用を促進しています。高校、大学などの教育事業でも実践しています。大学生と海藻アオサ堆肥をつかってタマネギを育て、ドレッシングにするなど、たのしい循環生活を上げたいと考えています。

「持続可能な栄養循環がわたしたちの生命を支える」をコンセプトに、ローカルフードサイクリングを天神の屋上や、アイランドシティ、美和台地区でも実施しています。

《活動》

- 身近な有機物の堆肥化 (生ごみ・落ち葉・雑草・海藻・松葉)
- オーガニック菜園の運営・講座
- 人材養成・支援活動 コンポスト／半農都会人(農業)
- 子どもくるくる村・キッズフリマ
- 小さな循環ファーム ローカル・フード・サイクリング フリーマーケット

団体 HP:<http://www.jun-namaken.com/>

代表者:永田由利子 たいら由以子

連絡先: info@jun-namaken.com 電話 092-405-5217

福岡工業大学附属城東高等学校 科学部

私たち城東高校は福岡市東区和白にある福岡工業大学の附属高校で全校生徒約2千人の学校です。

私たち科学部は様々な研究を日々行っています。

中でも生物班は博多湾を豊かにしたい！と思い、和白干潟の調査やラブアースクリーン活動、地域の小中学生への生き物出前授業などを行っています。

まだまだ勉強中なのでいろいろなことを教えていただけたらと思います。

どうぞよろしくお願いします！！



団体 HP : <http://www.jyoto.fit.jp/sciencs/index>

担当： 科学部 顧問 副島 英子

連絡先： TEL 092-606-0724, FAX 092-606-1550, E-mail: soechem@jyoto.ed.jp

福岡工業大学社会環境学部

福岡工業大学は福岡県東区に立地する私立大学です。社会環境学部では、現代社会の地域活動に関連するスキルを総合的に学ぶコースを設置し、地域に関する政策や教育、地域と密接に関わる環境保全や経済活動、防災、組織の役割など、社会環境の知識を前提に、フィールドワークや地理情報システム等を利用してバランスよく学修しています。

団体 HP : <http://www.ses.fit.ac.jp/>

代表者(学部長): 藤井洋次、担当者: 上杉昌也

連絡先: TEL:092-606-6494 FAX:092-606-6497 e-mail: uesugi@fit.ac.jp(担当者)

いであ株式会社 九州支店

【社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント】

社会基盤整備(河川・海岸、港湾、道路・都市・地域計画、橋梁)のコンサル事業、環境(環境影響評価・モニタリング、環境計画・管理、自然再生・保全、環境リスクの評価)のコンサル事業を基本に、減災、快適性さらには生命ソリューション等の諸分野について、企画から調査、分析、予測評価、設計、対策、施工管理までの業務を社内で一貫して実施できる総合コンサルタントです。

福岡市、特に博多湾においては、国や市などの事業を通じて環境改善に係る調査・検討を行っています。また毎年、市が企画される『ラブアース・クリーンアップ』にも企業として積極的に参加しております。

団体 HP など

いであ(株) 公式HP: <http://ideacon.jp/>

バイオウェザーHP: <https://www.bioweather.net/> ←気象情報等をご提供するページです。

地球環境カレッジ: <http://www.gecollege.or.jp/> ←特定非営利活動法人のページです。

代表者:松本 達郎(九州支店長), 担当:森下 和志(営業部長)

連絡先:住所:〒812-0055 福岡市東区東浜 1-5-12

電話:092-641-7878(代), FAX:092-651-3324(代), メール:mori@ideacon.co.jp(担当者)

三洋テクノマリン株式会社

弊社は環境総合コンサルタントとして、海域の環境調査や測量調査を得意としております。

特に測量は 60 年以上にわたり弊社の主要事業であり、マルチビーム測量を含めた業務実績は豊富にあります。また、環境調査(水質・底質・底生生物・付着生物・魚類・藻場等)についても国内のあらゆる海域において実績があり、分析についても自社で実施可能です。

このような豊富な現場経験を元に近年はシミュレーション・環境 DNA・バイオテレメトリー・マイクロプラスチック等の最新の調査・分析・解析技術に加え、沿岸域の環境保全や社会資本整備にかかるコンサルティングに至るまで、海域に関するあらゆるご相談にワンストップで対応する体制を構築いたしております。

博多湾 NEXT 会議を通じて、豊かな博多湾を創造するお手伝いをしていきたいと考えております。

団体 HP:<https://www.stm.co.jp/>

代表者:九州支社長 山地 定明・担当:松浦 隆宏

連絡先:TEL:092-283-1250 FAX:092-283-1255 メールアドレス:kyusyu@stm.co.jp

環境テクノス株式会社

当社は、1973年（昭和48年）に公害関係の分析測定業務を開始し、1976年（昭和51年）に前進の株式会社北九州公害技術センターを設立し、以後、化学分析を主体としつつ、環境影響評価の現況調査を中心とした各種環境調査業務を行ってきました。

昨今では、基本となる化学分析の他、騒音・振動、大気質、河川水質、陸域生物などの調査が多くなり、なかでも猛禽類調査に関しては各社からお声掛けを頂いています。

一方、アマモに関しては、当社には国内のアマモ場造成技術の黎明時期である中国電力によるアマモ場造成手法の開発、次いで行われた電力中央研究所による電源立地点の藻場造成技術の開発（砂泥性藻場）に携わった技術者が在職しており、北は青森県、南は鹿児島与次郎ヶ浜の1年生アマモなど全国のアマモ、コアマモの調査の他、数々のアマモ場造成の経験を有しています。

アマモ場造成は陸上植物のように移植は簡単ではなく、生育環境のボーダーを決めるにも複数の要因が複雑に絡み合っているようで、移植適地選定も単純ではありません。このため、一番簡単な手法は、アマモのことはアマモに聞くことが一番と考えています。



団体 HP： <http://www.kan-tec.co.jp/>

担当：福岡支店 貴戸

連絡先：092-434-4615 092-434-4616 hukuoka@kan-tec.co.jp

一般財団法人九州環境管理協会

私たちは、1971年に水質汚染や大気汚染など多様化する公害問題に取り組むため、財団法人として本格的に活動を開始しました。現在では、九州を中心として、動植物調査や環境アセスメント、各種の行政計画策定等の事業を実施しています。

福岡市をはじめとする自治体からは、市民啓発事業にかかる教育プログラム作成や施設運営等の業務を受注しています。

また、九環協独自の公益活動として、河川や干潟の身近な水辺、ビオトープ等で、生きもの観察会を指導したり、生物や化学をテーマとした講習会に講師を派遣したりしています。

地域に根ざした法人として、未来社会の創造のため最良のサービスを提供したいと考えております。

団体 HP： <http://www.keea.or.jp/>

担当：環境部 藤井

連絡先：092-662-0410 092-662-0411 fuji@keea.or.jp

株式会社 東京久栄 九州支店

私たち東京久栄は、これまで、1950年代の塩田事業から始まり、発電、造水、水産に関わる海や沿岸域のパイオニアとして、そして、事業に不可欠な環境の監視、保全および創造に半世紀以上にわたり従事しています。

これまで、社会は、高度成長の時代、公害問題の反省からの経済成長と環境保全の両立の時代、持続可能な世界の実現のための資源管理や環境創造の時代、地球との共存を目指す時代と大きく変化しました。

東京久栄は、そんな時代の要請に応じて歩んできました。

そして、今、真摯に自然と向き合い、社会と暮らしを豊かにする技術を探求し続けることを思い、「自然を識(し)り、豊かな未来につなぐ」をスローガンに取り組んでいます。

博多湾は、市民のすぐ傍(かたわ)らに豊かな海の自然と古(いにしえ)の港があります。私たち東京久栄は、これまで博多湾において、水産基盤整備や漁場環境保全対策、海水淡水化、覆砂効果、市民参加アマモ場づくり、干潟域の里海保全再生、博多湾環境保全対策モニタリング等に関わり、博多湾の持つ素晴らしいポテンシャルを実感しています。

NEXT会議では、微力ながらも、これまで培った事を生かし、思いを伝え、力になればと思い参加させて頂きました。

よろしく、お願いいたします。

団体 HP : <https://www.kyuei.co.jp/>

担当 : 株式会社東京久栄九州支店 大隅 清明

連絡先 : TEL : 092-712-6208 FAX : 092-714-5658 e-mail : finfo@tc.kyuei.co.jp

日本ミクニヤ株式会社 九州支店



MIKUNIYA
CORPORATION

日本ミクニヤ株式会社



水中から空を観たことがありますか？

私達は、「海とその調和」をテーマとして1985年に創立致しました。

以来、大いなる自然と豊かな社会を求める人間との間に立ち、バランスや調和が図れる企業であることを本業として、インターフェースコンセプトを掲げ、実践しています。



半魚人
=インタープリター

【事業概要】

- ・ 環境リスクコンサルティングサービス
- ・ 防災リスクコンサルティングサービス
- ・ 活動支援サービス
- ・ 空間情報計測サービス
- ・ 水産エンジニアリングサービス
- ・ 発酵分解テクノロジーサービス

我々は、現場を重視した環境関連事業および防災関連事業を行っております。

自然や環境と人間を調和させるインタープリターとして、一人ひとりの社員が提案から現地調査、さらに報告まで責任を持ち、真心で業務に取り組んでおります。

本社 〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 3-25-10

TEL:044-833-3928, FAX : 044-822-1689

支 店：東京（川崎）、大阪、中国（広島）、九州（福岡）

オフィス：東北（仙台）、名古屋、しまね（出雲市）、小長井（諫早市）、唐津、大分

団体 HP: <http://www.mikuniya.jp/>

担当: 日本ミクニヤ株式会社 九州支店 環境防災課 鮎本

連絡先

〒812-0015 福岡市博多区山王 2-9-3 TEL : 092-481-3928, FAX : 092-481-3938

E-mail : sushimoto@mikuniya.co.jp

復建調査設計株式会社 九州支社

国や地方自治体様の事業を通じて、海域環境再生の計画、調査、設計、評価までをトータルでコンサルティングし、豊かな海と共存できる未来社会の創造に貢献しています。

近年は、国土技術政策総合研究所で研究されている海域環境の価値の統合的評価手法の開発に携わっており、博多湾の環境価値の見える化や、藻場における調査イベント等を支援しています。

その他にも、博多湾において多種の業務を行っていますが、この内、特殊な業務事例を紹介させていただきます。

業 務 名：警固断層系活断層調査における周辺断層調査検討業務（発注者：九州大学）

本業務は博多湾内及び周辺地域の活断層の活動性、活動履歴、詳細位置などを把握するために海上調査（音波探査、海底面下の地層採取）を実施しました。

○音波探査

音波探査は、磁歪式音波探査機を用いて、博多湾内の警固断層帯延長部及び海の中道-石堂断層が分布すると考えられる地域で実施しました（総延長 30 km 程度）。

○海底面下の地層採取

海底面下の試料採取は、クレーン台船を用いて海底面下 5m 程度までの地層を定方位地層連続採取調査法（名称：ジオスライサー）により採取し、採取した地層を肉眼観察に基づき堆積相解析を行い、生痕化石や貝化石等の情報も加味して堆積環境の推定を行ったものです。



地層採取状況(サンプル)



採取試料(サンプル)

団体 HP： <http://www.fukken.co.jp/>

代表者：三重野秀信 担当：三戸勇吾

連絡先：y-mito@fukken.co.jp

八千代エンジニアリング株式会社

八千代エンジニアリング株式会社は、1963年の設立以来、総合建設コンサルタントとして人々が安全で豊かな暮らしができるよう社会資本整備に貢献してきました。

社会資本に関する、企画・調査から基本計画の立案、設計、施工管理、維持管理までを担っており、その事業ドメインも、交通・物流を支える道路・橋梁・港湾施設、水資源の確保や自然災害から生命・財産を守るダム・砂防・河川・海岸施設、衛生的な生活環境を支える廃棄物処理施設など多岐にわたっています。

私たちが所属する環境グループでは、国内外における森里川海をフィールドに、これらインフラ整備にともなう環境影響の調査、予測、評価、保全対策、自然再生や生態系ネットワークの形成の検討などを行っています。

沿岸域・海域においては、道路や海岸保全施設にかかる環境アセスや藻場・干潟・サンゴ造成、ブルーカーボン事業検討、鉄鋼スラグを活用した海域浄化などのコンサルティングを行っています。

博多湾においては、今までの経験・実績（横浜ブルーカーボン事業等）を基に、昨年（H30）12月より、ブルーカーボンを活用したアマモ場再生等の環境創造保全活動推進に関する検討支援をさせていただいております。

今後も引き続き、博多湾での生態系サービスを持続可能に享受し、豊かな生物環境を未来に引き継いでいくご支援をさせていただければと思っております。
よろしく願いいたします。

団体 HP :

<http://www.yachiyo-eng.co.jp/>

<http://www.yachiyo-eng.co.jp/service/environment/>

担当：遠山、末廣（九州支店環境部）、吉原（事業統括本部国内事業部環境計画部）

連絡先：TEL：092-751-1892（内 455） FAX：092-751-9474

Mail：HKT-BC@yachiyo-eng.co.jp

博多港ふ頭株式会社

コンテナターミナルで使用する大型荷役機械の電動化やハイブリッド化を推進し、CO2 排出削減など港湾環境の向上に努めています。また港湾区域で行われる清掃活動にも参加しています。

団体 HP : <http://www.hakatako-futo.co.jp>

担当:総務部総務課 佐藤

連絡先: TEL:092-282-7178 FAX:092-282-7771 e-mail: s-satou@hakatako-futo.co.jp

博多湾環境整備株式会社

博多湾浄化プロジェクトや海底耕耘の実施、飛来する渡り鳥の休息場の設置、その他アオサの除去など、幅広い活動について大学や行政・研究機関等と連携し、その実現のお手伝いを行っております。

団体 HP : <http://www.kankyou-seibi.co.jp>

代表者・代表取締役社長 犬丸謙一 担当 : 総務部 正岡真也

連絡先: 電話:092-291-8080、FAX:092-272-2687、メール:s-masaoka@kankyou-seibi.co.jp

福岡市 港湾空港局港湾計画部みなと環境政策課

博多湾 NEXT 会議の事務局をしております、福岡市港湾空港局みなと環境政策課です。

福岡市港湾空港局では、港湾活動と自然環境の共生を目指した取組みを進めており、みなと環境政策課では、エコパークゾーンでの環境保全創造の取組みの1つとして、和白・御島海域でのアマモ場づくりを行っています。



担当（左から）田中、松尾、馬場

アマモ場づくり活動は、地道な活動であるため、博多湾 NEXT 会議の会員さんと連携し、市民の博多湾への関心を醸成しながら、アマモへの関心や積極的な活動への参加を促進し、多様な主体と連携して生きもの豊かな博多湾を目指していきたくと考えています。

現在は、市民参加型のアマモ場づくり活動の実施とともに、アマモ場の役割を科学的に捉えるため、アマモ場のブルーカーボン量の算出やその活用に関する検討、親水空間の価値の数値化等に取り組んでいます。

博多湾に関する環境データ等も保有していますので、データが必要な場合は、ご相談ください。ちょっとしたことでも構いませんので、皆さまの活動と連携できそうなことがありましたら、ご連絡ください。

会員間の紹介も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

エコパークゾーンで観察できる生きもの等をまとめた、「エコパークゾーンガイドブック」を作成しています。必要な方はご連絡ください。



← エコパークゾーン
ガイドブック

団体 HP: http://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/kankyotaisaku/opinion/hakatawan_next.html

担当:福岡市港湾空港局港湾計画部みなと環境政策課 松尾、馬場、田中

連絡先:TEL:092-282-7178 FAX:092-282-7771

e-mail: m-kankyo.PHB@city.fukuoka.lg.jp

博多湾NEXT会議会員

会員54（37団体 個人会員17名）

種別	登録名	登録代表者氏名	所属等
個人会員	会 長	浅野 直人	福岡大学名誉教授
		伊豫岡 宏樹	福岡大学工学部社会デザイン工学科水工学研究室・助教
		江崎 裕子	
		小川 勇二	NPO法人福博相伝の会事務局長, NPO笑和 会長
		於保 剛	
		川口 栄男	九州大学名誉教授
		小島 治幸	九州共立大学名誉教授
		酒井 奈美	
		谷 憲司	
		椿 賢太	
		秦 耕司	博多港ポートガイド
		日高 健	近畿大学産業理学部経営ビジネス学科・教授
		堀田 剛広	
		本田 淑子	フードディレクター
		増田 龍哉	NPO法人 海辺つくり研究会 理事
		山崎 惟義	福岡大学名誉教授
		山下 浩史	
団体会員	福岡市漁業協同組合箱崎支所	藤野 秀司	福岡市漁業協同組合 箱崎支所運営委員会会長
	福岡市漁業協同組合伊崎支所	半田 孝之	福岡市漁業協同組合 伊崎支所運営委員会会長
	福岡市漁業協同組合姪浜支所	野上 洋一	福岡市漁業協同組合 姪浜支所運営委員会会長
	福岡市漁業協同組合能古支所	中村 貴富	福岡市漁業協同組合 能古支所運営委員会会長
	福岡市漁業協同組合本所	兵藤 信彦	福岡市漁業協同組合 本所専務理事
	一般社団法人ふくおかFUN	大神 弘太郎	一般社団法人ふくおかFUN 代表理事
	海と博物館研究所	高田 浩二	海と博物館研究所 所長
	NPO法人エコネットふくおか	馬場崎 正博	NPO法人エコネットふくおか 理事長
	NPO法人九州キラキラみなとネットワーク	大谷 鮎子	NPO法人九州キラキラみなとネットワーク
	博多湾未来塾	大谷 鮎子	博多湾未来塾
	NPO法人グリーンシティ福岡	志賀 壮史	NPO法人グリーンシティ福岡
	NPO法人循環生活研究所	永田 由利子	NPO法人循環生活研究所
	NPO法人日本環境監視協会	山崎 惟義	NPO法人日本環境監視協会 理事長
	NPO法人ふくおか湿地保全研究会	服部 卓朗	NPO法人ふくおか湿地保全研究会 理事長
	いであ株式会社九州支店	大石 敏	いであ株式会社九州支店 支店長
	株式会社ENJEC（エンジェック）	津村 英介	株式会社ENJEC 代表取締役
	環境テクノス株式会社	鶴田 直	株式会社環境テクノス株式会社 代表取締役社長
	一般財団法人九州環境管理協会	藤井 暁彦	一般財団法人九州環境管理協会 環境部・部長
	三洋テクノマリン株式会社九州支社	山地 定明	三洋テクノマリン株式会社九州支社 支社長
	株式会社東京久栄福岡支店	福井 真治	株式会社東京久栄福岡支店 支店長
	東洋建設株式会社九州支店	安井 祐輝	東洋建設株式会社九州支店 専務執行役員支店長
	株式会社日本港湾コンサルタント	大村 哲夫	株式会社日本港湾コンサルタント 代表取締役社長
	日本ミックヤ株式会社九州支店	峯 浩二	日本ミックヤ株式会社九州支店 支店長
	博多港ふ頭株式会社	二宮 潔	博多港ふ頭株式会社 代表取締役社長
	博多湾環境整備株式会社	犬丸 謙一	博多湾環境整備株式会社 代表取締役社長
	福岡市海浜公園指定管理者マリゾン・博多湾環境整備共同事業体	川内 弘和	福岡市海浜公園指定管理者マリゾン・博多湾環境整備共同事業体 所長
	復建調査設計株式会社九州支社	三重野 秀信	復建調査設計株式会社九州支社長
	マリンワールド海の中道	岩田 知彦	マリンワールド海の中道 副館長
	八千代エンジニアリング株式会社九州支店	上杉 泰右	八千代エンジニアリング株式会社九州支店 取締役 常務執行役員支店長
	百道浜校区青少年育成協議会	森岡 仁志	百道浜校区青少年育成協議会 会長
	福岡市姪北公民館	田中 さゆり	福岡市姪北公民館 主事
	福岡工業大学附属城東高等学校 科学部	副島 英子	福岡工業大学附属城東高等学校 科学部 顧問
	九州大学農学部水産増殖学研究室	鶴田 幸成	九州大学農学研究院水産増殖学研究室
	福岡工業大学 社会環境学部	藤井 洋次	社会環境学部・学部長
	国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所第一工務課	島村 辰一	国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所第一工務課長
	環境省九州地方環境事務所福岡事務所	小川 雅弘	環境省九州地方環境事務所福岡事務所自然保護官
	福岡市	-	

博多湾NEXT会議事務局

福岡市港湾空港局 港湾計画部 みなと環境政策課 環境共創係

E-mail: m-kankyo.PHB@city.fukuoka.lg.jp

TEL:092-282-7178 (内: 7153) FAX:092-282-7771

〒812-7153 福岡市博多区沖浜町 12-1 (博多港センタービル8F)
